

## 令和2年春季滋賀県連合子牛共進会・せり市結果

令和2年3月3日の桃の節句に、高島市今津町の高島総合家畜市場で令和2年春季滋賀県連合子牛共進会・せり市が開催されました。出品頭数は、メス9頭、ヌキ31頭の合計40頭の出品がありました。

午前中開催された共進会において、最優秀賞に日野町 畜産技術振興センター出品の「近江1の6」号が選ばれました。本牛は発育良好で、幅と張りに富み、特に、背腰は強く、平直である素晴らしい評価でした。また、農家出品の中から最も優れた牛として、甲賀市 岡崎さん出品の「令音」号が選ばれました。本牛は幅と張りに富み、資質品位に優れた牛でした。

午後からは表彰式の後せりが行われました。令和元年末から枝肉価格が低迷し回復しない中、雌は最高593,000円・最低158,000円・平均価格387,889円、去勢は最高761,000円・最低274,000円・平均494,792円でした。

過去5年間の春季高島総合家畜市場結果を比較してみますと、明らかに子牛価格の下落が読み取れます。(表)

また、平成27年から31年の雌の最低価格は最高価格の49～84%、去勢では42～68%ですが、令和2年は雌27%、去勢

36%となっており、今回は最高価格と最低価格の差が開いているよう見受けられました。

新型コロナウイルス禍で今後の景気が不透明の中、子牛生産農家においては、高評価を受ける牛を生産することはもちろんですが、共進会の審査講評でも「全体的に皮膚病が多く見受けられました。」と指摘がありましたとおり、不必要に子牛の評価を落とすことのないように、ストレスのない飼養環境についてもう一度ご確認いただきますようお願いします。



《追記》

北西部支所では、橋本支所長が退職、瀬川主任技師が異動となり、三溝支所長および新採の中山技師が支所のメンバーとなりました。今年度もよろしく申し上げます。

(宮坂)

表. 過去5年間の春季高島総合家畜市場結果

(円)

開催年	雌			去勢			雌・去勢 平均価格
	最高価格	最低価格	平均価格	最高価格	最低価格	平均価格	
令和2年	593,000	158,000	387,889	761,000	274,000	494,792	465,636
平成31年	774,000	382,000	602,067	823,000	562,000	712,633	675,778
平成30年	513,000	337,000	432,800	800,000	335,000	591,273	555,273
平成29年	829,000	505,000	637,429	856,000	365,000	737,000	711,333
平成28年	710,000	595,000	671,200	781,000	337,000	653,273	658,875
平成27年	598,000	450,000	514,857	636,000	393,000	527,048	524,000